

山形県議会広報紙

県議会ナビ

vol.07

令和4年12月発行

県議会ナビとは 県議会では、若い皆さんに県議会に関心をもってもらうため、平成28年度から年1回、県議会を紹介する広報紙を発行しています。

生徒・学生も政治に参加！



県議会から広がる輪。

CONTENTS

- ◆生徒・学生の声を伝えたい！
県議会議員との意見交換会 山形大学をピックアップ
- ◆学生に政治や選挙について聞いてみました
- ◆第26回参議院議員通常選挙が行われました
- ◆県議会へようこそ

表紙の写真について

多様な生き方がある今、それぞれの意見を持って前向きに政治に参加して欲しい、という意味を込めて「明るい」色を配色しました。また、つながりを持つことで、学生も県議会もお互いを知り政治を活発にするという意味を込めて、文翔館を背景に山形の花である紅花のリースで「輪」を表現しました。

生徒・学生の声を伝えたい！

県議会議員との意見交換会

山形大学をピックアップ

今年度、生徒・学生と県議会議員の意見交換会は4回実施しています。第2回は、令和4年9月2日に山形大学小川キャンパスで人文社会科学部人文社会科学地域公共政策コースの3〜4年生10名と県議会議員5名による意見交換会を行いました。

当日のやりとり（抜粋）

◆コロナ禍での観光業のあり方
学生：コロナ禍では観光業に対してどのような支援を行っていますか？

議員：働いている方が解雇されないように、助成金を出したり、売上が減少した店舗への現金支給など廃業しないような支援を行ってきました。しかし、いつまでも続けることは難しいので新商品の開発や子供をターゲットとするなど新しいことにも支援していくべきだと発言しています。



◆豪雨などの災害対策の現状と今後
学生：現在のどのような治水対策が行われていますか？また都市部では、どのような対策が施されていますか？

議員：現在の治水対策ですが、重要なのは降った雨水をきちんと流してあふれないようにすることです。また、都市部における内水氾濫ですが、各自治体でハザードマップを作ったあとに、内水の被害を極力少なくするために、地域の人と協力して対策をとっています。

◆県立図書館の「今」と「これから」

学生：県立図書館の利活用は地域の教育や貧困問題の解決策につながり、大切なテーマだと思えますが議論はされていますか？

議員：文教公安常任委員会で県立図書館リニューアルの方向性について議論しています。人類の知恵の集積の場ともいわれる図書館は大変重要な位置を占めていると思います。



議員：電子図書などの普及で本に触れる機会が少なくなる中で、今後の図書館のあり方について、皆さんはどう考えていますか？

学生：カフェ併設の図書館にすれば若者の利用が増えると思います。また、物理的な場所以とらわれず、カフェなどに小さい併設の図書コーナーを設けることで町全体が図書館になるようなものもいいですね。

参加した学生からは、「議員の皆さんとお話してみても、自分が事前に調べたこと以上のことを知ることができてよかった」、「初めて県議会議員と話した。県政を担う人たちと話すことで、山形県への興味が深まるきっかけになり良い経験だった」などの感想が寄せられました。なお、いただいた御意見は議会活動に反映しています。例えば、議会のインターネット中継をスマートフォンやタブレットでも視聴できるようにしました。

全体投票率 ▶▶▶▶ 61.87% (全国1位) 10代投票率 ▶▶▶▶ 38.54%

不在者投票 してみました

今年4月の山形大学入学を機に、県外から住民票を移した1年生が、参議院議員選挙で不在者投票をしました。

国政選挙では住民票を移した後、3カ月が経過する前に選挙があった場合は、引越し前の住所地での投票となります。今回は「帰省しての投票は難しい」ため、不在者投票の制度を利用しました。

◆不在者投票の方法

1.投票用紙の請求

「不在者投票請求書・宣誓書」に必要事項を記入し、選挙人名簿に登録されている市町村の選挙管理委員会（旧住所）に郵送する。

2.投票用紙等の受取り

現住所に届く。届いた不在者投票証明書は開封したり、投票用紙にあらかじめ記入したりしないこと。

3.現住所近くの選挙管理委員会で投票する

封筒を職員に提出後、本人確認した上で、投票用紙に記入し封筒に入れた上で不在者投票管理者へ提出する。

不在者投票を終えて

不在者投票には気をつけなければならないことが2つありました。1つ目は、期間が限られていること。不在者投票は公示日の翌日から投票日の前日までにしなければなりません。2つ目は、郵送に時間がかかること。不在者投票用紙を請求してから、投票用紙等が届くまでに時間がかかります。そのため、不在者投票をするためには、余裕のあるスケジュールが必要です。

住民票を居住地に移しているのに、投票までに複雑な手間がかかるのは混乱します。また、制度を知っていながら「手続きが面倒だから投票をしない」という友人もいました。県外から住民票を移して3カ月未満の人も、お金や時間をかけずにスムーズに投票できるようになればいいと思います。

学生に 政治や選挙について聞いてみました

NPO法人ドットジェイピーの2名(庄司さん、新山さん)にインタビュー

「NPO法人ドットジェイピー」は議員インターンシップなどを行っている学生サークルです。政治や選挙を知らない学生が多い中で、学ぶ機会を作り出し「学生と社会をつなぐパイプ役」となっています。

—どのように議員の情報を得ていますか？

庄司さん：家に届いた新聞やパンフレットをチェックしています。社会課題を考え、その課題解決に近い政策を訴えている議員さんを調べるようにしています。

新山さん：インターンで関わった議員さんのSNSやホームページも見ます。フェイスブックだと、議員さんが書いた文章や画像、動画などで、本人の人格が伝わりやすいと思います。しかし、フェイスブックは使っている学生が少ないので、そのあたりは課題だと感じています。

—現行の選挙制度への意見や考えを教えてください
庄司さん：転居により、投票が出来ないことがありました。不在者投票などの仕組みも含めて選挙を正しく知り、気軽に投票できるようになったら、大学生の投票率も上がるのではないのでしょうか。

新山さん：民間が行っている選挙割のサービスなどを、もっと自治体で取り組んだり、大きく取り上げて欲しいです。



庄司紗利菜さん



新山郷さん



◆ドットジェイピーの活動内容

- ・議員やNPO法人へのインターンシップ
- ・若年層に向けた投票率アップイベントの実施
- ・SNSの更新 等

【活動例】議員と学生の交流場所 ポリティカルカフェ

公民館などの会場を借りて、4～5人の議員と15人程度の学生が集まるイベントを行っています。カフェという名前の通り、堅い雰囲気の話し合いではなく、例えば「議員になった理由」や「恋愛話」など、日常の話題をテーマにし議員と学生が交流します。

令和4年度 意見交換会の 状況

第1回 7月19日(火)



県立置賜農業高等学校
生徒会及び農業クラブの役員
の皆さんから活動報告をいただいた
後、意見交換を実施しました。

第3回 10月21日(金)



県立農林大学校
全校生の皆さんと意見交換を実施
しました。

第4回 11月1日(火)



酒田市立酒田看護専門学校
1年生とワークショップ形式で
意見交換会を開催しました。

第26回参議院議員通常選挙が行われました

7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙で、山形県は投票率が全国で最も高い61.87%でした。

10代投票率は38.54%で3年前の前回は1.71ポイント上回りました。

選挙後に学生の 感想や意見を集めました

選挙の時期に限らず、日常生活の中から政治に関心をもってニュースを見て、国だけでなく地域の情勢も知っておく習慣が大切だと思いました。

誰に投票するかを考えるために、立候補者の公約や日頃の活動などを、もっとわかりやすく知る機会が欲しいと思いました。情報へのアクセスが難しいです。

選挙権があるので行ってみたいという気持ちは強くありましたが、自分が1票を投じたとしても若者の声が本当に届き、政策に反映されるのか心配になりました。

家族で暮らしていると親に促されて一緒に選挙に行くこともあるが、一人暮らしだとなかなか足が向かない。大学内や大学近くに投票できる場所があると嬉しい。

新聞社が政党ごとに政策などを比較しまとめていて参考にできる記事が多かったです。自分の中で大切にしたい軸をもって政策を見ることが大切だと思いました。

県議会へようこそ

県民の皆さんに県議会を身近に感じてもらうため、さまざまな取組みを進めています。

■議員と意見交換をしてみよう！

県議会では、選挙年齢が18歳になったことを契機に、若い世代にも議会を身近なものに感じてもらうことを目的に意見交換会を実施しています。

学校の希望に応じて討論型・ワークショップ型・活動発表などさまざまな形式で開催しており、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても意見が交わされています。

生徒会活動、学生ゼミ、総合学習など参加形態は問いません。希望する学校はぜひ、県議会へ相談してください。



▲山形大学生との意見交換会の様子

■県議会ギャラリーに作品を展示しよう！

議会棟1階のロビーを「県議会ギャラリー」として開放しています。県内の児童、生徒の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示することができます。

【展示対象】 工作、絵画、イラスト、ポスター、彫刻、写真、研究発表用パネル 等

【展示期間】 1カ月以内

【展示費用】 無料



▲山形県緑の少年団の紹介展示

県議会議員との意見交換会や
県議会ギャラリーについては

お問い合わせ／県議会事務局議事調査課政策調査室
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL 023-630-2846 FAX 023-630-2853

令和5年4月に県議会議員選挙が行われます！

県議会議員選挙が令和5年4月9日(日)に行われます。皆さんの代表を選ぶ大事な選挙です。ぜひ投票に行きましょう。

県議会ナビの発行に当たっては、わかりやすさ・読みやすさはもちろんのこと、若い方の感性を活かしたデザイン・内容にしたいと考え、山形大学の学生さんに協力していただきました。より多くの若い皆さんに手に取ってもらい、県議会や政治に興味をもってもらえると嬉しいです。

(編集)山形県議会広報・広聴委員会

(協力)【表紙・デザイン】山形大学フリーペーパーサークル「Y-ai!(ヤイ)」

地域教育文化学部 3年 佐藤悠里さん

地域教育文化学部 1年 岩澤心音さん、川合杏奈さん

人文社会科学部 1年 石岡 桃さん

編集後記



広報・広聴委員会の委員



「Y-ai!(ヤイ)」の皆さん